



東寺方複合施設の整備に向けた 地域協議会NEWS

1号

令和7年5月30日発行

令和7年5月17日(土)に「東寺方複合施設の整備に向けた地域協議会」の第1回を開催しました。
話し合われた内容をお伝えします！

議題 東寺方地域に求められるサービス・機能はなに？

委員の意見

どんな場所であってほしい？

地域の相談事をつなげられる場にしてほしい。行政サービスを分かっている職員にいてほしい。

この施設があることをもっと地域に知ってほしい。

時代背景が変わり、機能不全の家庭が増えている。空間のシェアは大切だが、大人数の場が嫌い・職員としか話せない子もいるので、そういう子どもも来やすい施設にしたい。

図書館の敷居を低くして、来なくなる施設に。

全世代が使える場所にしたい。

中高生も利用しなくなる施設に

パーティションで仕切るなど使いやすいスペースに。

児童館は、多くの子どもたちが参加できるような事業を展開してほしい

現在の施設は？

色々な世代が来ているが、施設が3層に分かれているので交流ができない。多世代が交ざれる工夫をしたい。

Wi-Fiがない
看板がない

入りづらい・気軽に立ち寄れない



どんなデータが必要？何を分析する？

東寺方図書館の経費、他館との比較

地域の人口が増えている一方で、利用者数は増えていない？
施設によっては利用者数を競う必要はないのでは？

何が必要？

若い人を呼び込む新しいこと

2階の行事を増やす
Wi-Fiがあるといい

引き続き

第2回 東寺方地域に求められるサービス・機能はなに？

第2回は第1回に引き続き、地域に求められるサービス・機能について、議論を深めたいと考えています。

現状の地域や施設の課題、皆さんが求める施設像についてご意見がございましたら、下の意見提出フォームからお寄せください。
※次回第2回地域協議会は傍聴できません。

予告

8/9に地域の皆様向けに、中間報告会を開催予定です。ぜひお越しください。

問合せ
多摩市役所行政管理課
電話：042-338-6948



←地域協議会の資料など
詳しくはこちら
※地域協議会資料は
東寺方複合施設内にも
置いています。

ご意見をお寄せください→
(意見提出フォーム)



地域協議会の設立

地域協議会とは？

東寺方地域の老朽化している公共施設の整備に向けて、地域の課題やニーズ等を把握し、施設が提供するサービス・機能の見直しや整備手法等について地域住民の立場から主体的に検討・提言を行うことで、地域に根ざした施設づくりに寄与することを目的としています。

委員は？

地域協議会は東寺方自治会や利用者・保護者等、15名で構成されます。
会長は大鷲委員(東寺方自治会長)、副会長は齊藤委員(東寺方複合館の存続を考える会代表)と決まりました。

目指すこと

整備方針案を作成し、市長に提出します

※整備方針案とは「将来に向けた施設像、求められるサービス・機能、管理運営の考え方、整備手法、スケジュール」を記載したもの。

※地域協議会は委員の自由な発言を保証するため原則傍聴できません。そのため、話し合われた内容は、この地域協議会NEWSでお知らせし、定期的に中間報告会を開催します。ご意見等ございましたら、表面右下の意見提出フォームからお寄せください。

地域協議会は市とパートナーシップ協定を締結します

パートナーシップ協定とは？

地域の課題を解決するため、自主的に活動する各種団体等の自主性を尊重し、協働を進めるため、多摩市と地域協議会との役割分担や相互協力の内容を定めるものです。

今後内容を決定し次第、締結します。



イメージ

対等な立場・自主性を尊重・相互に協力

地域協議会

- ・15人の委員で構成され、地域に根ざした施設づくりに寄与することを目指す
- ・地域住民へ周知し、住民相互の意見調整
- ・個別利益優先しない
- ・行政から自立した組織として整備方針案を作成

地域協議会は
整備方針案を提出



多摩市

- ・東寺方複合施設の老朽化を課題と捉え、早期に整備方針を策定したい
- ・地域協議会から提出される整備方針案を尊重
- ・変更する場合は地域協議会と内容調整
- ・整備方針として決定 **ゴール**

事務局運営で支援

市が考える、公共施設のミライ

多用途・多目的に使える公共施設に転換し、みんなで公共施設をシェア(共有)していきます

コミュニティ施設

世代を問わず広く利用可能なコミュニティ施設(コミュニティセンター、コミュニティ会館のいずれか)へ転換します。

児童館

東寺方児童館、愛宕児童館を統合し、児童センターを設置します。東寺方複合施設では施設内に子どもの居場所を確保します。

図書館

運営体制の検証や、老朽化対応に際しては中央図書館を中心とした図書館ネットワークのもとでサービスを再検討します。